

国際日本学部 2023 年度夏期 海外ボランティア・プログラム

参加報告書（インドネシア・ブディルフル大学）

① 本プログラム参加のきっかけ・目的について（200 字以上）

本プログラムに参加した主な目的は、以下の三つである。一つ目は、実際にボランティアを成功させることで、社会貢献の成功体験を積み、今後の社会活動に対する自信をつけることである。二つ目は、異なる文化的背景を持つ人と円滑にコミュニケーションをとる能力を養うことである。特にコミュニケーションにおいて、通常の座学を中心とした留学プログラムでは、他の学生とあまり関わらずにプログラムを修了できてしまう可能性がある。そのため、協力が必要不可欠となる本プログラムが自分に適していると感じた。三つ目は、実際の生活を通して、インドネシアの文化を学ぶことである。

② プログラム内容について（各項目 200 字以上）

1. ボランティア活動・ワークショップについて

本プログラムでは主に二種のボランティア活動を行った。一つ目は弁当を作り、街の人に配る活動だ。初めの二回はインドネシアで好んで食べられる献立を作り、最後の一回は日本食の献立を自分たちで考え、自ら材料を調達した。料理を作る経験を通して、インドネシアの食文化に対する造詣が深まった。二つ目は、現地の中高生に日本文化を紹介するワークショップの運営だ。書道、折り紙、簡単な日本語を教えたほか、たこ焼きを一緒に調理した。参加者はみな日本に対する関心が深く、彼らにとって貴重な機会を提供できた。

2. 授業（インドネシアの歴史や文化、インドネシア語）について

インドネシアで伝統的に踊られる踊りを各地方の衣装を着用して踊った。伝統衣装を着ることは一般的な座学を中心とした留学プログラムでは体験できないため、本プログラムならではの非常にユニークかつ貴重な機会だった。また、初歩的なインドネシア語を勉強した。現地の学生の中には少し日本語が話せる人もおり、日本語に対して理解を示してくれていることを非常に嬉しく感じた。自分も彼らの言葉を理解できるようになりたいと思った。そのため、帰国後もインドネシア語の勉強を継続することを決めた。

3. フィールドトリップ（バンドンツアー）について

ジャカルタと比較して、バンドンには以下のような差異が見受けられた。まず、ジャカルタではモスク以外の宗教施設を見ることができなかったが、バンドンにはキリスト教会やミッションスクールもあり、二つの宗教文化が混在しているように見えた。また、ジャカルタ中心部は高層ビルが並ぶ発展した都市の様相を示していたが、バンドンはオランダ統治時代の様式を持つ建物が多く、インドネシアならではの文化・歴史を視覚的に実感できた。

③ 本プログラムを終えての学習成果・感想（200字以上）

第一に、私たちはボランティア活動をしにインドネシアに来たはずだが、実際は送迎や食事の用意、校外活動の案内など、多くの場面でブディルフル大学の人に親切にしてくださり、助ける実感よりも助けられる実感が強かった。それに対して「自分たちは恩返しとして何ができるか」を自発的に考えて実行できたことが、私たちの大きな成長の一つだと感じた。参加に際して目標としていた社会貢献の経験、英会話力の向上、インドネシアの文化についての実体験を通じた学習の全てを達成できたため、自分にとって非常に有意義な機会になった。

④ 現地での生活等について（今後参加する学生へのアドバイス含む）

1. 滞在先の治安・キャンパス・施設について

地図上では方形に区画された住宅街に寮があり、比較的治安の良い地域だと感じた。キャンパス内では主に学生用のラウンジで活動した。寮内の生活で不便に思うことはなく、快適に生活できた。

2. 食事について

氷と生の野菜および辛い料理に気をつけていた。体調不良者が相次いだときは、辛い食事を用意していただいた。インドネシアで主流の出前サービスのアプリをインストールして利用することもあった。

3. 交通手段について

原則として大学のバスで移動した。スマホアプリでタクシーを手配することもできた。

4. 通信環境について

海外用のSIMカードを購入した人が多かったが、自分はモバイルWi-Fiをレンタルして臨んだ。滞在した寮にもWi-Fiのルーターがあったが、離れた距離からでは寮内でも接続できないことがしばしばあった。

5. 買い物事情について

英語で会話ができる店員のいるスーパーマーケットが寮の付近にあり、特段苦勞することはなかった。トイレトペーパーを買える場所が限られているため、それを把握する必要があった。

6. 医療事情について

日本語で話せる医者のある病院があった。保険に加入してあるため、安心して診ていただけることが可能なようだった。日本から飲み慣れている胃腸薬を多めに持参すべきだと感じた。

7. その他、生活等に関して参考となることがあれば教えてください。

インドネシア語の簡単な挨拶を覚えておくコミュニケーションの質が上がると感じた。

以上